

兵庫県公立大学法人経営審議会（令和6年度・第56回）議事録

1 日 時 令和7年3月18日（火）13:30～15:30

2 場 所 新長田キャンパスプラザ5階
兵庫県立大学新長田ブランチ（神戸市長田区腕塚町5丁目2-1）

3 出席者

理事長	國井総一郎	兵庫県立大学学長兼副理事長	高坂 誠
芸術文化観光専門職大学学長兼副理事長	平田オリザ	副理事長兼事務総長	小川 佳宏
理事兼兵庫県立大学副学長	畑 豊	理事兼兵庫県立大学副学長	坂下 玲子
理事兼兵庫県立大学副学長	内田 勇人	理事兼芸術文化観光専門職大学副学長	川目 俊哉
理事兼副事務総長	陰山 晶彦	副事務総長	日下部雅之
委員（外部有識者）	石田 雅昭	委員（外部有識者）	井上 琢智
委員（外部有識者）	片田 範子	委員（外部有識者）	村上早百合
委員（外部有識者）	村山 滋	委員（外部有識者）	山本 裕之
監事（非常勤）	東元 良宏	監事（非常勤）	岡本 俊二
兵庫県立大学副学長	草薙 真一	芸術文化観光専門職大学副学長	藤野 一夫

4 審議事項

(1) 令和7年度予算の編成について

事務局から、令和7年度予算の編成に関して、資料に基づき説明を行い、審議した。

（委員からの主な意見等）

- 兵庫県立大学の予算が、対前年度比で▲490百万円も減っているのはなぜか。
（R7収入のうち研究経費▲652百万円が意図的に削減したものではないことを確認）
[参考：主な予算減の内訳]
 - ・ ニュースバル放射光施設の経費を、基金からの支出に切り替え ▲260百万円
 - ・ R6国庫補助金（地域中核イノベーション事業） ▲170百万円 等
- 授業料等無償化に係る経費について、来年度以降の見通しはどうか。
（県が授業料等無償化に係る基金を設置するが、継続的に財源確保がなされるか確認）
- 今後は人口減少が顕著になるが、私立大学は授業料収入がなくて教員給与が払えないと問題になるが、財務状況の健全性に関する指標を設定した方がよいのでは。

- ネーミングライツで他大学は28百万円も稼ぎ、食堂や各会議室等に企業名がある。特に製造業は人手不足であるため、少しでも大学に知ってほしいというニーズ等があることから、ネーミングライツによる外部資金の獲得を充実させてはどうか。

(2) 重要な規程の改正について

事務局から、重要な規程の改正について、資料に基づき説明を行い、審議した。

(委員からの主な意見等)

- ソーシャルデータサイエンス研究所が兵庫県のシンクタンク機能を担うとあるが、県から助成はあるのか。そうでなければ大学が業務過多に陥らないか懸念される。

- 理事会の開催回数を6回から2回に大きく減らすことは私学では考えられないが、理事会運営に支障が生じないのか。

(予算・決算の2回と必ず審議が必要となる開催日に開催する方針であることを確認)

5 報告事項

(1) 法人評価委員会の開催結果及び第三期中期計画の認可について

事務局から、法人評価委員会の開催結果及び第三期中期計画の認可について、資料に基づき報告を行った。

(2) 芸術文化観光専門職大学ビジョン2050について

平田学長から、芸術文化観光専門職大学ビジョン2050について、資料に基づき報告を行った。

6 その他事項

(1) 令和7年度経営審議会開催予定について

事務局から、令和7年度経営審議会開催予定について説明を行った。

〔 第1回：令和7年6月17日（火）
第2回：令和8年3月17日（火） 〕

以上